平成24年11月22日

卒論担当4年クラス担任

竹本　鴻巣

卒業論文および卒業研究発表について

［Ⅰ］　卒業論文について

1. 卒業論文の執筆について

卒業論文の研究テーマは，プロジェクトマネジメントと関連することを原則とし，以下のことに注意して執筆すること．

（1）表題は内容を良く表している．

（2）従来の研究の経緯や相違点が記述されている．

（3）研究成果が一貫して説明されている．

* + 論文要旨（概要）により，研究全体像をイメージすることが出来る．
  + 研究目的が容易に理解できる．
  + 結論を導く過程，考察が十分である．
  + 結論が明快にまとめられている．

（4）研究成果が容易に理解できる．

* + 構成について：特に指定はしないが，一般的に使用されている構成が好ましい．
  + 文章について：「・・・である」調で記述する．
  + 図，表等について：図のタイトルは下，表のタイトルは上に記載する．
  + 内容説明に余分なところは無いことが良い．
  + 内容説明に付加すべきところは無いことが良い．

（5）卒業論文のボリュームについて

卒業論文のボリュームは，多いだけでは良い訳でなく，内容を重視することが大切である．しかし，１年半の研究成果として，**論文頁数は，本文60頁以上を目安とする**．ただし，研究者が2人の場合は90頁以上，3人以上の場合は120頁以上を目安とする．また，付録の頁数は本文に含まないこととする．

（6）複数で執筆した卒業論文は，当該論文を各人毎に提出し，それぞれ分担者氏名を目次に明示し，論文の共通部分と分担部分とを明確にする．

（7）参考文献の引用について

* + 卒業論文に引用する文献は，出典を明記する．
  + 参考文献数は，卒論の内容によって異なるが，常識的に見て最低10編以上が望ましい．

(8) その他

　　・**論文の表紙，本文，概要フォーマットは資料１，背表紙は資料2を参考に作成する**．（但し，経営システムコースは概要のフォーマットが一部異なるので担当教員から指示を受けること．）指示にしたがっていない場合は受け取ることができない．

1. 卒業論文の提出について

・論文タイトルを**平成25年1月18日（金）正午**までに指導教員に届け出ること．(この日を過ぎての卒論タイトルの変更はできないので注意すること．)

・中間審査に合格していない学生の概要及び論文は受理しない．

・卒業研究発表予定者は，資料１に従って，卒業論文概要のMS-Wordファイルとそのコピー1部を**平成25年1月24日（木）正午までに指導教員へ提出**すること．指導教員は，研究室ごとにまとめて，**平成25年1月29日（火）18:00までに卒論担当（竹本）へファイルを送付する**．

・論文のタイトルと概要のタイトルが，同じであることを確認すること．

　　・指定されたフォーマットにより作成した卒業論文とその概要（各1部）を，**指定ファイル（ライオンLF-263B：バイオレット）に綴じて，平成25年1月31日（木）15：00～17：00の間に2号棟10階PM学科会議室（卒論担当：竹本，鴻巣）へ提出**すること．なお，指定ファイルは，CITサービス（購買）へ発注済みであるから，各自購買で購入すること．

・提出が遅れた卒業論文は，受理しない．ただし，病気，交通機関のトラブル等の正当な理由がある場合は，これに当てはまらない．（証明書と指導教員の了承が必要）

・卒業論文は，PM学科会議室に平成25年2月5日（火）まで保管され，教員が閲覧する．

［Ⅱ］卒業研究発表について

1．卒業研究発表のスケジュール等について

・**実施日時：平成25年2月6日（水）**

・発表会場：会場は追って指示する．

・プログラム編成：プログラム編成は，後日発表する．ただし，概要あるいは論文が指定日に提出されていない学生は，プログラムに掲載されない．

・発表に欠席した者は，その理由を書面で提出し，指導教員からの指示に従うこと．

・発表時には，卒業論文を会場の各教員に回覧する．

・卒業研究の合否判定結果は，発表会終了後1週間以内に掲示する．

・卒業研究の判定結果が保留となった者は，指導教員の指示に従うこと．

・司会は指導教員が行い，タイムキーパは発表の当該研究室で担当する．

2．卒業研究発表の注意点

（1）卒業研究発表の位置づけ

　　・卒業研究発表は，公開の発表会と位置づける．卒業研究の単位を取得するためには，これに合格する必要がある．

（2）発表形式

・口頭発表とし，発表には，原則としてプレゼンテーションソフト（パワーポイントなど）と液晶プロジェクタを使用する．また，液晶プロジェクタとPCは研究室で用意する．

　会場に液晶プロジェクタが設置されている場合は，会場のものを使用しても良い．

（3）共同研究者数と発表時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 共同研究者数 | 発表 | 質疑応答 | 合計 |
| 1人 | 10分 | 5分 | 15分 |
| 2人 | 15分 | 7分 | 22分 |
| 3人以上 | 20分 | 10分 | 30分 |

・発表経過時間は，ベルで次のとおり知らせる．

第１鈴　発表終了2分前　（ベルを1回鳴らす）

第2鈴　発表終了　　　　（ベルを2回鳴らす）

第3鈴　質疑応答終了　　（ベルを3回鳴らす）

以上